

○令和4年度 教育事業・北海道「体験の風をおこそう」運動推進事業

「みて・よんで・きいて 絵本力アップゼミすくすく編」

(R4.10.14 (金)、10.15 (土)、10.16 (日))

令和4年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

参加費 無料

幼児教育講演会 in 旭川

**非認知能力を支える生活習慣
～幼小接続と子育ての支援～**

講師 鈴木みゆき

國學院大學人間開発学部子ども支援学科教授

<主な経歴>

- ・文部科学省 家庭教育の支援に関する検討委員会 委員 (2011～2013)
- ・東京都教育委員会 第7期生涯学習審議会委員(幼児・家庭教育専門部会長)(2007～2008)
- ・文部科学省 中央教育審議会 幼児教育部会委員(2015～2017)
- ・厚生労働省 社会保障審議会 保育専門委員会委員 (2015～2017)
- ・内閣府 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に関する検討委員会委員(2016～2017)
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長(2017～2020)
- ・文科省中教審特別委員会「架け橋期の教育(幼小接続)」委員

日時・会場

令和4年
10月15日(土)
10:15～12:00
大雪クリスタルホール

申込方法等の詳細は裏面をご覧ください。

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立大雪青少年交流の家
National Taisetsu Youth Friendship Center

<申込・問合せ先>
〒071-0235 北海道上川郡美瑛町白金温泉
TEL:0166-94-3121
FAX:0166-94-3223
担当：岩谷、和泉



◆目的

子どもの望ましい生活習慣や、幼児期に必要な支援を学ぶ企画とする。

◆概要

10月14日(金) 東神楽会場
主催：北海道教育庁上川教育局
共催：国立大雪青少年交流の家他
(地域ぐるみ)

10月15日(土) 旭川会場
主催：国立大雪青少年交流の家
(地域ぐるみ)

共催：旭川私立幼稚園協会
旭川大学短期大学部幼児教育学科

10月16日(日) 剣淵会場
主催：剣淵町教育委員会
共催：国立大雪青少年交流の家

◆参加実績

10月14日(金) 28名
10月15日(土) 210名
10月16日(日) 5名

◆プログラム

鈴木みゆき氏(國學院大學人間開発学部子ども支援学科教授)を講師に招いた幼児教育講演会

10月14日(金)

講演「賢く、元気に、機嫌よく
～子どもの発達と生活習慣・学習習慣～」

- ・睡眠の役割、睡眠不足が子供に及ぼす影響
- ・教育現場が抱える現状と課題

10月15日(土)

講演「非認知能力を支える生活習慣～幼小接続と子育ての支援～」

- ・睡眠の役割、睡眠不足が子供に及ぼす影響
- ・幼保小架け橋プログラムについて

10月16日(日)

講演「生活リズムと読書～寝る子は育つ！読む子は伸びる！」

- ・睡眠の役割、睡眠不足が子供に及ぼす影響
- ・読書量と非認知能力の関係 等



◆事業運営・企画のポイント

- 早寝早起きに関する話や、幼保小の接続について等、幼児教育に関する知識を幅広く持ち、且つ大学内でも講義のわかりやすさに定評のある鈴木氏を講師に招くことで、参加者が楽しんで学ぶことのできる講演会となるようにした。
- 保護者会や幼稚園協会と連携し、日常的に保育に関わる方や保護者へ効率的に広報を行った。
- 北海道内でも特に絵本の普及に力を入れている剣淵町と連携した。今後も連携を続け、北海道全体へ読書活動を普及する上で協力体制をとりたいと考えている。

◆参加者の声

- 睡眠をしっかりとりとることはとても大切であると改めて感じる事ができた。かしこく元気に機嫌よくも忘れずに保育をすすめていきたい。と同時に保護者に睡眠の大切さを伝えていきたい。
- 全てにおいて幼児期がとても大切だということ。その時に携われていることに責任も感じられますが誇らしくもあり、これからの子ども達との関わり方（保護者にも）に役立てていきたい。
- 小さい頃からたくさん本を読んでおいたら良かったなと思いました。今まで睡眠をけずることも多々ありましたが、それはダメなんだと理論的にわかった。

◆事業の成果と課題

- ① 研究データ等の解説を交えたわかりやすい説明により、生活習慣や読書活動が子どもに与える影響について理解を深めることができた。
- ② 近隣の教育局や幼稚園協会、大学と連携をとることで、子どもに直接関わる保護者や保育者にダイレクトに広報が可能となり、十分な集客ができた。事業に参加した保護者、保育者が幼児期に必要な働きかけについて理解を深めることで、子どもたちの生活習慣の確立に繋がることを期待できる。